

IV 便利な「都」をつくる

～県土マネジメントを推進し、
効率的で便利な交通基盤をつくる～

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (37) 京奈和自動車道等の整備

R5 予算案 8,494,769千円
債務負担行為 320,000千円

ここまで良くなりました

京奈和自動車道の整備により、県内の企業立地が促進しました。

【京奈和自動車道】

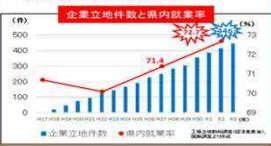
- ① 大和北道路(国・NEXCO西日本)
 - 《(仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC》
 - ・調査・設計を実施
 - 《(仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCT》
 - ・用地取得率 約8割
 - ・用地買収、拡幅工事、橋梁下部工を実施
- ② 大和御所道路(国)
 - 《(仮称)大和山IC～(仮称)高田IC》
 - ・橋梁上下部工を実施
- 【(都) 西九条佐保線】
- ③ 西九条佐保線(県)
 - ・用地買収を実施

【企業立地件数】

R3年新規企業立地件数は31件
⇒全国9位、近畿7府県中2位

【県内就業率】

前回(H27年)比1.3ポイントの上昇
⇒全国でトップの上昇率



京奈和自動車道及び関連道路等の整備

(1)京奈和自動車道 大和北道路 (2,900,000千円)

用地買収、拡幅工事、橋梁下部工事

(2)京奈和自動車道 大和御所道路 (3,300,000千円)

拡幅工事、橋梁上下部工事

※(仮称)橿原JCT大阪方面接続ランプ
令和8年春 開通予定 (R3.4月 国公表)

⇒ 関西大環状道路の形成による企業立地の促進、
観光の振興、渋滞緩和、救急医療施設へのアクセス向上

(3)西九条佐保線、大安寺柏木線、JR関西本線高架化等
(2,294,769千円、R6債務負担行為 320,000千円)

用地買収、鉄道高架化工事等

⇒ 京奈和自動車道(仮称)奈良ICへのアクセス向上、
鉄道高架化による地域分断の解消、一体的なまちづくりの推進



位置図

もっと良くするために

京奈和自動車道及び関連道路の早期整備に取り組みます。

- 京奈和自動車道
 - ① 大和北道路
 - (仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC間で調査・設計を推進
 - (仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCT間で用地買収、拡幅工事、橋梁下部工を推進
 - ② 大和御所道路
 - R8年春(仮称)橿原JCT(大阪方面接続ランプ)開通予定
 - (仮称)大和山IC～(仮称)高田IC間で拡幅工事、橋梁上下部工を推進
- 【(都) 西九条佐保線】
 - 用地買収、鉄道高架化工事を推進



大和北道路(大和郡山市横町)



大和御所道路(橿原高田IC付近)



(仮称)奈良IC・西九条佐保線(イメージ図)

〈問い合わせ先〉
県土マネジメント部 道路建設課 松田課長補佐(内線4131)

令和5年度予算案 8,495百万円 [債務負担行為 320百万円]

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備

(38) 大和平野中心部の道路整備

(国道163号・国道168号と周辺道路)

R5 予算案	1,714,149千円
債務負担行為	800,000千円
R4・2月補正予算案	1,025,850千円

ここまで良くなりました

大和平野中心部の道路整備を進めています。

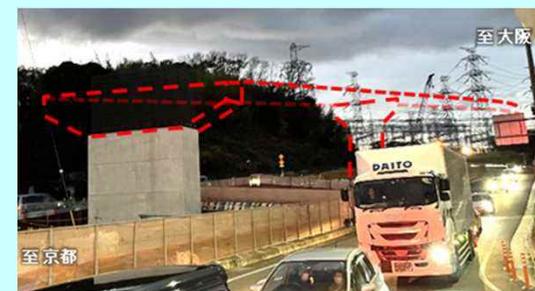
- ①国道168号 王寺道路(県) [事業延長:1.5km]
+H27年9月までに王寺町本町一丁目交差点から南側の約1.2kmが供用
- ②国道168号 香芝王寺道路(県) [事業延長:0.2km]
+R3年度から工事を実施
- ③国道168号 小平尾バイパス(県) [事業延長:1.5km]
+バイパス区間の工事を実施
- ④国道163号 清滝生駒道路(国) [事業延長:5.7km]
+北田原地区、北田原東地区、高山大橋交差点、鹿畑地区で工事を実施
- ⑤国道25号 斑鳩バイパス・三室周辺(国) [事業延長:4.7km]
+H30年3月に王寺町本町一丁目交差点の渋滞対策が完成
+R2年8月までに三室交差点から東側の約1.5kmが供用
+五百井・興留区間で工事中

1. 国道163号の整備 (661,000千円)

(1) 国道163号(清滝生駒道路)

用地買収、バイパス区間の工事、橋梁下部工事等

⇒ 奈良県北西部の府県間における東西ネットワークの強化



橋梁下部工事(生駒市高山町)

2. 国道168号と周辺道路の整備

(1,053,149千円、債務負担行為 800,000千円、R4・2月補正 1,025,850千円)

(2) 国道168号(王寺道路、香芝王寺道路、小平尾バイパス)

(906,149千円、R6債務負担行為 800,000千円、R4・2月補正 1,025,850千円)

王寺道路 拡幅工事、舗装工事等
香芝王寺道路 用地買収、拡幅工事、電線共同溝工事等
小平尾バイパス 用地買収、橋梁上下部工事等

⇒ 奈良県北西部の南北軸となる道路における移動の円滑化と交通安全性の向上



王寺・香芝王寺道路の工事状況

(3) 国道25号(斑鳩バイパス) (147,000千円)

用地買収、バイパス区間の工事

⇒ 西和地域の観光地や救急医療施設へのアクセス向上



小平尾バイパスの工事状況

もっと良くするために

大和平野中心部道路の早期整備に取り組みます。

- ①王寺道路 ②香芝王寺道路
- 《王寺道路》
○拡幅工事、舗装工事を推進
- 《香芝王寺道路》
○R6年度に0.3kmを供用予定
○用地買収、拡幅工事、電線共同溝工事を推進
- ③小平尾バイパス
○用地買収、橋梁上下部工事を推進
- ④清滝生駒道路
○用地買収、バイパス区間の工事、橋梁下部工事を推進
- ⑤斑鳩バイパス・三室周辺
○五百井・興留地区の用地買収、バイパス区間の工事を推進

〈問い合わせ先〉

県土マネジメント部 道路建設課 大西主幹(内線4146)、松田課長補佐(内線4131)

令和5年度予算案 1,714百万円(債務負担行為600百万円)
令和4年度2月補正予算案 1,026百万円

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備

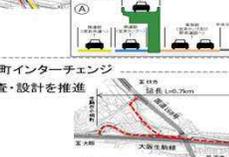
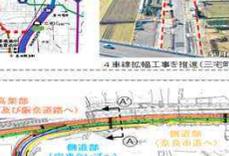
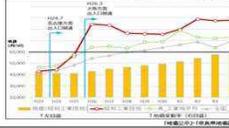
(39) 大和平野中心部の道路整備(大和中央道・阪奈道路結節点)

R5 予算案 595,400千円
 債務負担行為 195,000千円
 R4・2月補正予算案 3,907千円

ここまで良くなりました

幹線道路の整備により、県内の工業地域における地価が上昇しました。

- ①(都)城廻り線[事業延長:0.9km]
・R2年度から近鉄線アンダーパスの工事を実施
- ②天理王寺線(長楽工区)[事業延長:1.7km]
・R2年3月に曾我川橋前後の約0.5kmが供用
- ③結崎田原本線(結崎～三河工区)[事業延長:2.1km]
・伴堂地区及び三河地区において工事を実施
- ④国道308号(宝来ランプ)[事業延長:0.5km]
・調査・設計を実施
- ⑤枚方大和郡山線(中町工区)[事業延長:1.6km]
・R2年3月に砂茶屋橋東詰交差点南側の約0.2kmが供用
- ⑥辻町インターチェンジ[事業延長:約0.5km]
・計画検討を行いながら地元説明を実施



もっと良くするために

大和平野中心部の企業立地等の促進のため、早期整備に取り組みます。

- ①(都)城廻り線
○用地買収、近鉄線アンダーパスの工事を推進
- ②天理王寺線(長楽工区) ③結崎田原本線(結崎～三河工区)
○用地買収、バイパス区間の工事を推進
- ④国道308号(宝来ランプ)
○側道部から阪奈道路へ接続する高架橋の調査・設計、用地買収を推進
- ⑤枚方大和郡山線(中町工区) ⑥辻町インターチェンジ
○用地買収、拡幅工事を推進

1. 大和中央道と周辺道路の整備 (462,050千円、R6債務負担行為 195,000千円、R4・2月補正 3,907千円)

(1) (都)城廻り線 北郡山工区

用地買収、近鉄線アンダーパスの工事

(3) 天理王寺線 長楽工区

用地買収、バイパス区間の工事等

⇒ 大和平野中央部の南北軸及び東西軸となる道路における移動の円滑化や交通安全性の向上

(2) 結崎田原本線 結崎～三河工区

用地買収、拡幅工事等

(4) 枚方大和郡山線 中町工区

用地買収、拡幅工事等



北郡山工区 (近鉄立体交差点完成イメージ)



結崎田原本線(結崎～三河工区) (完成イメージ)



天理王寺線(長楽工区)東側



枚方大和郡山線(中町工区)南側

2. 阪奈道路結節点の整備 (133,350千円)

国道308号 宝来ランプ

調査・設計、用地買収

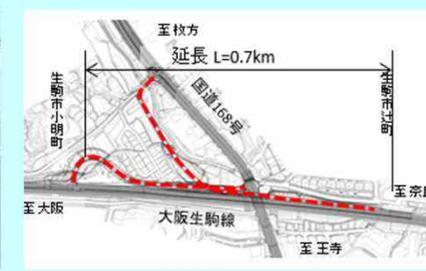
⇒ 大宮道路高架部から第二阪奈道路への乗り入れの確保によるアクセス性の向上

辻町インターチェンジ

調査・設計



宝来ランプ(イメージ図)



辻町インターチェンジ

〈問い合わせ先〉
 県土マネジメント部 道路建設課 大西主幹(内線4146)、松田課長補佐(内線4131)

令和5年度予算案 595百万円 [債務負担行為 195百万円]
 令和4年度2月補正予算案 4百万円

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (40) アンカールート国道168号の整備

R 5 予算案 2,144,150千円
債務負担行為 2,435,000千円
R 4・2月補正予算案 139,650千円

ここまで良くなりました

国道168号五條新宮道路が令和4年4月に重要物流道路に指定されました。国道168号の整備促進により、**救急搬送時間が短くなりました。**

【事業区間(重要物流道路)】

- ①新天辻工区(県)【事業延長:7.2km】
・設計、用地買収を実施・R4年度から仮設工事を実施
- ②阪本工区(県)【事業延長:1.4km】
・R2年度から(仮称)阪本トンネルの工事を実施
・R3年2月に(仮称)新阪本橋が完成
- ③長殿道路(国)【事業延長:2.7km】
・橋梁上下部工事を実施
- ④風屋川津・宇宮原工区(国)【事業延長:6.9km】
・橋梁下部工事を実施
- ⑤十津川道路(Ⅱ期)(国)【事業延長:5.6km】
・調査・設計を実施・R4年度から用地買収に着手

【全線開通区間】
十津川道路(R1年9月)
辻堂バイパス(H30年3月)
川津道路(H28年3月)



【計画区間(重要物流道路)】

- ⑥五條市生子町～釜窪町(調査路線)(県)【調査延長:約6.0km】
・調査・設計を実施



もっと良くするために

国道168号五條新宮道路の**早期整備**に取り組みます。

②阪本工区【事業区間(県)】

○トンネル工事、設備工事、道路取付工事を推進



③長殿道路【事業区間(国)】

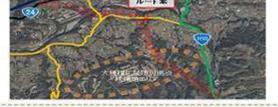
○用地買収、橋梁下部工事を推進



⑥五條市生子町～釜窪町

【計画区間(調査路線(県))】

○測量・調査、都市計画手続きを推進



①新天辻工区【事業区間(県)】

○調査・設計、用地買収、仮設工事を推進

⑤十津川道路(Ⅱ期)【事業区間(国)】

○調査・設計、用地買収を推進

令和5年度予算案 2,144百万円

【債務負担行為 2,435百万円】

令和4年度2月補正予算案 140百万円

1. 国道168号(五條新宮道路)の整備 (2,040,150千円、R6～7債務負担行為 2,435,000千円 R4・2月補正 139,650千円)

(1) 新天辻工区・阪本工区

(990,150千円、R6～7債務負担行為 2,435,000千円、
R4・2月補正 139,650千円)

新天辻工区 トンネル着手に向けた仮設工事
阪本工区 トンネル照明、設備工事、道路取付工事

⇒ **線形不良区間と冬期の最大難所の回避**による
走行性の向上及び安全・安心の確保

(2) 長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路(Ⅱ期) (1,050,000千円)

長殿道路 用地買収、橋梁下部工事、トンネル工事
風屋川津・宇宮原工区 用地買収、橋梁下部工事
十津川道路(Ⅱ期) 調査・設計、用地買収

⇒ **崩土等による通行止めのリスク低減と線形不良及び
狭隘区間の解消**による、安全・安心の確保

2. 国道168号のバイパスの整備 (104,000千円)

調査路線(五條市生子町～釜窪町)

測量・調査、都市計画手続き等

⇒ **京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を経由して
国道168号へ接続**



阪本工区・(仮称)阪本トンネル(トンネル工事)



長殿道路2号橋(橋梁上部工事)



五條市生子町～釜窪町(調査路線)

〈問い合わせ先〉

県土マネジメント部 道路建設課 大西主幹(内線4146)、松田課長補佐(内線4131)、松田主幹(内4141)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (41) アンカールート国道169号の整備

R5 予算案	1,187,000千円
債務負担行為	555,000千円
R4・2月補正予算案	380,776千円

ここまで良くなりました

国道169号奈良中部熊野道路が令和4年4月に重要物流道路に指定されました。国道169号の整備促進により、さらなる観光の促進が期待されます。

【事業区間(重要物流道路)】

- ①御所高取バイパス(県)【事業延長:3.4km】
・調査・設計を実施
- ②高取バイパス(県)【事業延長:3.4km】
・H24年4月に高取町兵庫から松山高架橋間の1.4kmが供用
・H31年1月に高取トンネル(L=635m)が完成
- ③伯母峯峠道路(国)【事業延長:2.9km】
・橋梁上下部工事を実施

【計画区間(重要物流道路)】

- ④下北山村前鬼～上池原(調査路線)(県)【調査延長:約3.5km】
・前鬼橋架替の設計に着手
・調査・設計を実施

下北山村スポーツ公園(下北山村) キャンプ場利用者数 (千人)
 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5
 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100

国道169号(奈良中部熊野道路)の整備

(1) 御所高取バイパス、高取バイパス
(441,000千円、R6債務負担行為 520,000千円
R4・2月補正 380,776千円)



御所高取バイパス (完成イメージ) 高取バイパス

御所高取バイパス 調査・設計、用地買収
高取バイパス 橋梁上部工事、拡幅工事

⇒ 京奈和自動車道御所ICと南和地域を結び、地域活性化や観光振興の支援

(2) 伯母峯峠道路 (630,000千円)



伯母峯峠道路(仮称)2号橋(橋梁上部工事)

用地買収、橋梁上部工事

⇒ 大型車両との離合が困難な新伯母峯トンネルの回避による、安全・安心の確保

(3) 調査路線(下北山村前鬼～上池原)
(116,000千円、R6債務負担行為 35,000千円)



下北山村前鬼～上池原(急カーブ、狭隘箇所)

調査・設計

⇒ 大型車の対向が困難な線形不良区間における道路の検討

もっと良くするために

国道169号奈良中部熊野道路の早期整備に取り組みます。

②高取バイパス【事業区間(県)】
○R7年度完成供用予定
○橋梁上部工事、拡幅工事を推進

③伯母峯峠道路【事業区間(国)】
○用地買収、橋梁上部工事を推進

①御所高取バイパス【事業区間(県)】
○調査・設計、用地買収を推進

④下北山村前鬼～上池原【計画区間(調査路線)(県)】
○調査・設計を推進

令和5年度予算案 1,187百万円 [債務負担行為 555百万円]
令和4年度2月補正予算案 381百万円

〈問い合わせ先〉
県土マネジメント部 道路建設課 大西主幹(内線4146)、松田課長補佐(内線4131)、松田主幹(内4141)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (42) 大和平野東部の道路整備

R5 予算案	139,650千円
債務負担行為	100,000千円
R4・2月補正予算案	173,195千円

ここまで良くなりました

周辺道路の整備促進により、さらなる地域振興が期待されます。

- ①桜井吉野線(百市工区) [事業延長:1.5km]
・H30年3月に現道拡幅区間の0.2kmが供用 ・R2年6月に「ものいち桜橋」完成
- ②国道369号(香酔峠工区) [事業延長:0.94km]
・R4年度に完成供用
- ③桜井都祁線(桜井市白河～川上) [事業延長:1.2km]
・調査・設計を実施
- ④国道165号中和津道路
・R3年7月に国及び奈良県の「新広域道路交通計画」に「一般広域道路」として位置づけ



もっと良くするために

大和平野東部の地域振興等のため、早期整備に取り組みます。

- ①桜井吉野線(百市工区)
○R5年度に0.4kmを供用予定
○用地買収、橋梁上部工事、バイパス区間の工事を推進
- ③桜井都祁線(桜井市白河～川上)
○調査・設計を推進
- ④国道165号中和津道路
○現況の道路構造の課題について調査を実施

令和5年度予算案 140百万円
[債務負担行為100百万円]
令和4年度2月補正予算案 173百万円

大和平野東部における道路の整備

- (1) 桜井吉野線 百市工区
(139,650千円、R6 債務負担行為 100,000千円、R4・2月補正 173,195千円)

用地買収、橋梁上部工事、バイパス区間の工事
(※バイパス区間 R5 供用開始予定)

⇒ 県中和地域と吉野地域を結び、観光振興や地域産業を支援



桜井吉野線 百市工区 (バイパス区間の工事を推進)

〈問い合わせ先〉
県土マネジメント部 道路建設課 大西主幹(内線4146)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備

(43) 道路の維持管理の計画化・体系化

R5 予算案	9,159,127千円
債務負担行為	1,077,050千円
R4・2補正予算案	2,014,796千円

ここまで良くなりました

道路を利用する方々が、安全・安心に利用していただけるよう、様々な道路の維持管理に取り組んでいます。

- 定期点検・診断により確認された修繕が必要な「橋梁」や「トンネル」などの施設について対策を実施
- 道路パトロールや第三者からの通報、損傷度合の調査結果等により、「舗装」や「区画線」等の補修、「草刈り」や「路面清掃」等による日常管理を実施

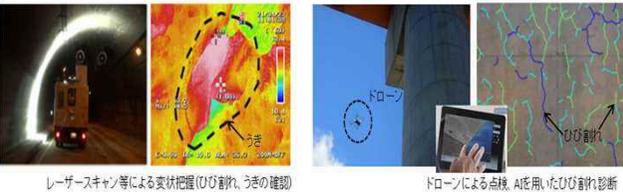


トンネル定期点検の状況 舗装補修工事の状況 草刈りの状況

もっと良くするために

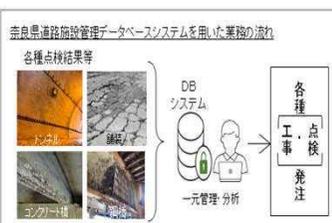
道路の維持管理の計画化・体系化をさらに進めるために、レーザースキャン等によるトンネル点検、ドローンによる橋梁点検、AIを用いたひび割れ診断などの新技術や、データベースシステムの活用により、効率的・効果的な維持管理を推進します。

- 修繕が必要な施設の対策を加速するとともに、点検の効率化・費用削減を推進



レーザースキャン等による変状把握(ひび割れ、うきの確認) ドローンによる点検、AIを用いたひび割れ診断

- 「奈良県道路施設管理データベースシステム」により、各種道路施設の損傷状況等を一元管理し、「見える化」することで、補修箇所選定から対策工事まで計画的に実施、効率的・効果的な維持管理を推進



- 道路の穴ほこ、落石や倒木等の異常を発見後、速やかに対応できるよう、パトロールと補修・草刈り等を一体的に実施する包括民間委託業務の対象路線拡大

令和5年度予算案 9,159百万円
 [債務負担行為1,077百万円]
 令和4年度2月補正予算案 2,015百万円

1. 道路構造物の老朽化対策 (2,719,160千円、R6債務負担行為 626,450千円、R4・2補正 675,559千円)

- ① 橋梁、トンネル、大型構造物等の補修・修繕による**長寿命化**



橋梁補修 トンネル点検

2. 道路構造物の点検・診断 (760,330千円)

- ② 近接目視により5年に1回の頻度で点検・診断 **レーザースキャンやAI等の新技術を積極活用**

3. 道路の舗装補修 (1,368,911千円、R6債務負担行為 52,500千円、R4・2補正 735,437千円)

- ③ 傷んだ道路の**舗装補修**
- ④ 道路施設の諸元、点検結果、補修履歴等を**データベースシステムで一元管理**



道路の舗装補修

4. 道路斜面の防災対策 (1,137,603千円、R6債務負担行為 398,100千円、R4・2補正 563,800千円)

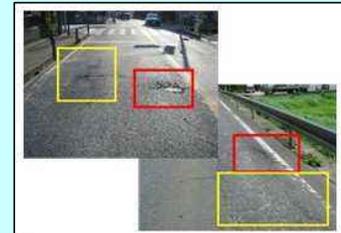
- ⑤ 崩落等の兆候、緊急輸送道路や孤立集落発生の可能性等を総合的に判断した**道路斜面の崩壊対策**



道路斜面の崩壊対策

5. 道路施設の維持管理 (3,173,123千円、R4・2補正 40,000千円)

- ⑥ 道路構造物、交通安全施設等の維持工事
- ⑦ 除草、道路清掃、雪寒対策
- ⑧ 道路パトロール、緊急維持対応、道路施設の**包括管理業務委託**
- ⑨ **(新)ドライブレコーダー映像解析による道路の損傷箇所の検出等、デジタル技術を活用した道路維持管理の検討**



映像解析による損傷箇所検出イメージ

〈問い合わせ先〉 県土マネジメント部 道路保全課 辻井主幹(内線4152)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (44) 奈良県の新しい道路整備の仕組

R 5 予算案	10,842,119千円
債務負担行為	6,820,000千円
R 4・2月補正予算案	2,731,831千円

ここまで良くなりました

奈良県道路整備基本計画の「道路整備の方針」に基づき、道路整備を進めています。



- 道路は「何のために」つくるのか目的を明確にします。
 - ・骨格幹線道路ネットワークの形成
 - ・目的志向の道路整備(企業立地、観光振興、安全安心、まちづくり)
- 道路を「どのように」つくるのかプロセスを明確にします。
 - ・「選択と集中」の考え方の深化(事業評価の徹底、合理的な予算配分)
 - ・プロセスの重視(事業着手前の評価手順の徹底)

<事業着手前の評価手順>

- 1) 必要性の調査
 - ・道路整備の目的と計画の整合性の確認
 - ・市町村長及び議会からの要望の確認 など
- 2) 優先度の判定
 - ・用地買収の確実性(地権者同意済優先)
 - ・まちづくり等関連事業の実現可能性 など

目的、必要性、優先度が明確 → 調査路線に決定
 ・これまでに6路線が調査路線に決定し、そのうち2路線が新規事業化(うち1路線は供用済み)
 ・R4年度から新たに4つの調査路線を決定し、調査に着手

大和郡山広陵線	橿原新庄線
吉野東吉野線	二見御幸辻停車場線

もっと良くするために

新規事業化における評価基準の充実と評価実施のプロセスを徹底します。

○用地買収の確実性やまちづくり等関連事業の実現可能性、及び事業費の精度向上のため設計の充実や用地権利関係の確認実施など、評価実施プロセスを徹底

「選択と集中」に基づくマネジメントの徹底と、連携・協働により、供用開始に向け機運醸成を継続して実施します。

○「選択と集中」に基づき、予算・事業のマネジメントを実施

- 1) 予算マネジメントの実施
 - ・骨格幹線道路や主要プロジェクト関連事業への重点投資
 - ・事業進捗、効率性を踏まえた予算配分
- 2) 事業マネジメントの実施
 - ・用地プロセスによる用地取得の進捗管理
 - ・有識者委員会を設置し、用地買収、用地補償の算定を審査
 - ・事業認定手続きを標準化し、必要な箇所に活用
- 3) 利用者への工事内容の周知を実施
 - ・工事内容について、看板の設置等により地域や通行者へ周知
 - ・工事箇所への完成予想図の設置

○供用目標の宣言を実施

- 1) 供用対象の決定
 - ・開通、改良別に整備効果の早期発現のための基準を策定して決定
- 2) 供用時期の公表を実施
 - ・3年以内に供用開始が見込める箇所について、供用時期を公表
- 3) 利用者への供用開始の周知を実施
 - ・供用開始について、看板の設置等により地域や通行者へ周知
 - ・お礼や感謝等のメッセージを伝える

令和5年度予算案 10,842百万円 [債務負担行為 6,820百万円]
 令和4年度2月補正予算案 2,732百万円

奈良県道路整備基本計画の概要

整備すべき道路のあり方 一何のために・どのようなー

骨格幹線道路ネットワークの形成

奈良県経済の進展に対応した目的志向の道路整備を推進

安全・安心を支える道路整備を推進

道路整備の進め方 ーどのようにー

「選択と集中」の深化と道路整備の体系化

連携・協働と説明責任

契約・許認可の適正確保と品質向上

「選択と集中」による体系的な道路の整備

(1) 道路・街路の整備

(10,607,119千円、R 6～7 債務負担行為 6,775,000千円、
 R 4・2月補正 2,731,831千円)

国道168号 小平尾バイパス、王寺道路、香芝王寺道路、新天辻工区、阪本工区

国道169号 御所高取バイパス、高取バイパス

国道308号(宝来ランプ)、国道369号(大保道路)

枚方大和郡山線、天理王寺線、天理環状線、結崎田原本線、桜井吉野線、高野天川線

西九条佐保線、JR関西本線(高架化)、大安寺柏木線、城廻り線、奈良橿原線、畝傍駅前通り線 ほか



国道168号 阪本工区

(2) 道路整備計画の調査・検討

(235,000千円、R 6 債務負担行為 45,000千円)

国道168号(五條市生子町～釜窪町)

国道169号(下北山村前鬼～上池原)

国道165号(桜井市～三重県境) ほか



国道169号 前鬼～上池原(調査路線)

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)

IV 便利な「都」をつくる 11 道路整備 (45) 円滑な用地買収・用地補償

R5 予算案 1,835千円

ここまで良くなりました

奈良県の地域振興の最大の障壁は全国にとどろく**用地買収の困難性**です。用地買収難航の理由は、ほとんどが高額要求であり、**用地買収が全国上位の難しい地域**と言われていますが、**その改善に努めてきました。**

- 公共用地は鑑定価格以上では絶対に買収不可
- 土地取得価格の適正性を確保するため、不動産鑑定士・学識経験者からなる有識者委員会を設置
- 公共用地の取得に係る損失補償価格の適正性を確保するため、弁護士、不動産鑑定士、一級建築士からなる有識者委員会を設置

耕作放棄地には重課制度が適用できます。(通常の農地固定資産税の1.8倍の重課)

○農業委員会が当該放棄地を中間管理機構に対し貸付(農地として再活用)を協議すべき旨の勧告をした際に重課を適用



もっと良くするために

事業化に際しては、**用地買収の確実性を確認**します。

事業認定手続きを標準化します。

(実績) おおみねさん どころわ
R2 (主)大塚山公園線(天川村洞川)
R3 国道311号(十津川村竹筒)

○主要プロジェクトについて、進捗度にあわせた完成目標を明確にし、土地収用法に基づく事業認定手続きを標準化、明確化し、必要に応じ、その適用を実施

高額案件等の用地費や補償費の妥当性は、**有識者委員会を経て判断**します。

用地買収体制を強化します。

(実績) R3 16件 R4 13件(予定)

○用地買収体制の強化と用地担当職員個々の資質向上に取り組むとともに、用地担当職員のモチベーションを上げる仕組みを検討

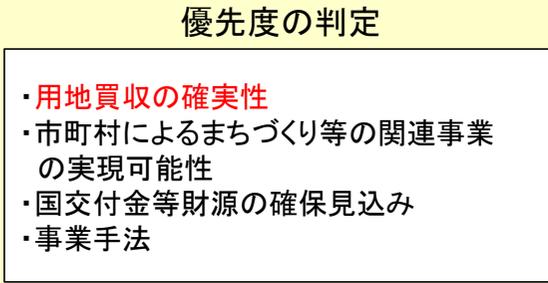
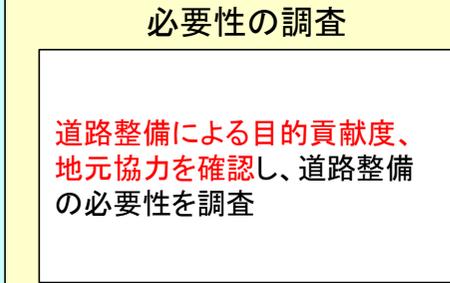


奈良県県土マネジメント部用地事務初任者研修

令和5年度予算案 2百万円

1. 新規事業化における評価基準の充実と評価実施プロセスの徹底

①用地買収の確実性の確認



新規事業化

2. 用地費・補償金算定における適正性の確保 (1,060千円)

②大規模な事業用地の取得案件等を対象に、**鑑定価格の妥当性を有識者から意見聴取**

③高額案件等を対象に、**公共用地の損失補償に関する考え方や補償内容の妥当性を有識者から意見聴取**



骨格幹線道路用地買収の状況 (都市計画道路(西九条佐保線)の道路整備)

3. 事業認定手続きを標準化

④主要プロジェクトの完成目標にあわせ、**土地収用法に基づく事業認定手続きを標準化**

4. 用地買収体制の強化等 (775千円)

⑤**用地買収体制の強化と用地担当職員個々の資質向上**

⑥**用地担当職員のモチベーションを上げる仕組みの検討**



奈良県県土マネジメント部用地事務初任者研修

〈問い合わせ先〉

- ① 県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)
- ②③⑤⑥ 県土マネジメント部 用地対策課 福永課長補佐(内線4252)
- ④ 県土マネジメント部 用地対策課 福永課長補佐(内線4252)、道路建設課 大西主幹(内線4146)

IV 便利な「都」をつくる 12 鉄道整備 (46) 大和西大寺駅の高架化・近鉄奈良線の移設

R5 予算案 125,000千円

ここまで良くなりました

令和3年3月に策定した踏切道改良計画に基づき、令和4年度より連続立体交差事業補助調査に着手しています。

○計画の具体化に向け、奈良県・奈良市・近鉄の3者による協議に加え、国にも参加いただく検討会を設置・開催

～H30年 大和西大寺駅西側及び東側の8踏切道が踏切道改良促進法に基づく改良すべき踏切道に指定

R3年3月 県、奈良市、鉄道事業者の3者において大和西大寺駅の高架化、平城宮跡から近鉄奈良線の移設という改良方法を記載した踏切道改良計画を策定し、国土交通省に提出

R3年10月～関係者による検討会の開催(国も参加)

(第1回: R3年10月、第2回: R4年11月)

今後の事業スケジュール、鉄道移設に関する具体的な線路計画等について議論

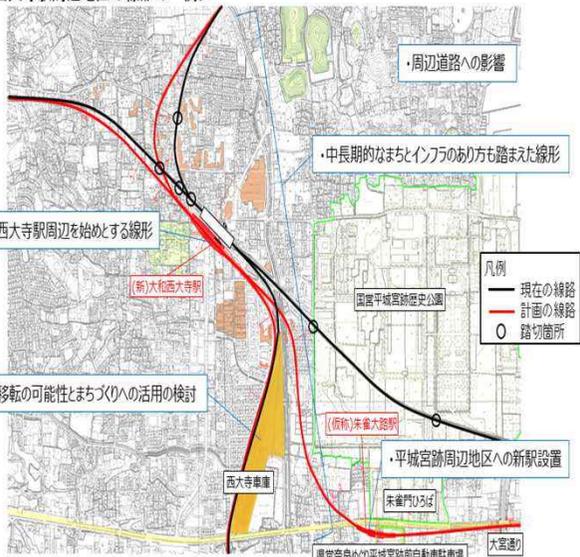
もっと良くするために

早期の事業認可、工事着手に向け、引き続き、連続立体交差事業補助調査を実施します。

○鉄道線形や新駅設置の具体的な検討を推進

○中長期的なまちとインフラのあり方を踏まえた検討を推進

<大和西大寺駅周辺地区の線形の一例>



<R5年度の取組>
鉄道概略設計 ほか

令和5年度予算案 125百万円

大和西大寺駅高架化・近鉄奈良線移設の具体化に向けた取組

地方踏切道改良計画(令和3年3月)に基づき、鉄道線形や車庫移転の可能性について関係者(県・奈良市・近鉄・国)で構成する検討会において具体化

※国の連続立体交差事業補助調査を活用

【大和西大寺駅周辺地区の線形の一例】



・大和西大寺駅周辺を始めた線形

・車庫移転の可能性とまちづくりへの活用の検討

・周辺道路への影響

・中長期的なまちとインフラのあり方も踏まえた線形

・平城宮跡周辺地区への新駅設置

※新駅は別途協議。線形は確定していない。

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 まちづくりプロジェクト推進課 植田主幹(内線4324)

IV 便利な「都」をつくる 12 鉄道整備 (47) JR新駅の設置と鉄道高架化

R5 予算案 2,305,640千円
債務負担行為 320,000千円

ここまで良くなりました

JR関西本線高架化を進めています。

OR2年度にJR西日本と鉄道高架化に係る工事
施行協定を締結。R3年度から仮線工事を実施。

〈仮線工事状況(R4年11月時点)〉



もっと良くなるために

鉄道高架化工事及びJR新駅周辺のまちづくりを推進します。令和10年度のJR新駅の設置と鉄道高架化の完成を目指します。

○京奈和自動車道(仮称)奈良IC整備と新駅による高い交通結節機能を活かした拠点が形成されることから、先進的な都市サービスを提供するまちづくりビジョンを具体化

○奈良市中心市街地とのアクセス性を確保するため、(都)西九条佐保線を整備するとともに、地域分断や踏切事故の解消を図るための鉄道高架化を推進



令和5年度予算案 2,306百万円【債務負担行為 320百万円】

1. (仮称)奈良インターチェンジ周辺の整備 (2,297,640千円、R6債務負担行為 320,000千円)

(1) 西九条佐保線・大安寺柏木線等の道路整備
(1,281,810千円、R6債務負担行為 320,000千円)

用地買収等

(2) JR関西本線の鉄道高架・新駅整備
(1,012,959千円)

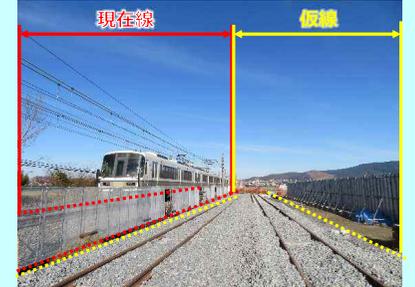
鉄道高架化工事

(3) 奈良市実施のJR新駅西口駅前広場整備への支援
(2,871千円)

⇒ 京奈和自動車道(仮称)奈良インターチェンジとJR関西本線新駅を結節し、**周遊性を向上**



位置図



JR関西本線高架(仮線工事)

2. JR新駅周辺のまちづくり (8,000千円)

先進的な都市サービスを提供するまちづくりの検討

- ① **コンソーシアム形式の検討会**で有識者や民間事業者から**アイデアを募集**
- ② **本地区のまちづくりビジョンの具体化**に向けた検討を実施

〈問い合わせ先〉

- 1. 県土マネジメント部 道路建設課 松田課長補佐(内線4131)
- 2. 県土マネジメント部 まちづくりプロジェクト推進課 植田主幹(内線4324)

例: デジタル技術を活用した先進的交通サービス



ここまで良くなってきました

名古屋・大阪間の環境影響評価手続きが令和5年から開始されることにより、「奈良市附近駅」位置及び県内ルートが事実上、確定します。

リニア中央新幹線と関西国際空港を接続する構想について、調査・検討を実施しました。

○政府の「骨太の方針2022」において、R5年からの環境影響評価手続き開始に関する方針が明記

○奈良県期成同盟会や三重・奈良・大阪建設促進大会等を開催し、関係者が一丸となり取り組むことを確認

○「奈良市附近駅」位置及びルートの決定には、以下の6項目が重要な要素

- 【工事に直接関わる事項】
- ①用地取得の確実性
- ②発生土活用先の確保
- ③文化財・環境等の要配慮事項
- 【地域が大きな関心を有する事項】
- ④交通結節性の確保
- ⑤駅周辺のまちづくり
- ⑥地域全体の将来的な発展可能性

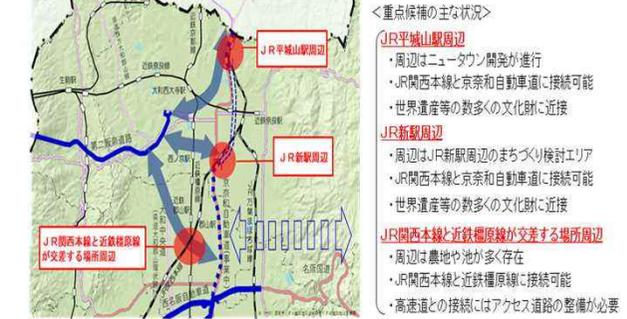


もっと良くするために

2037年(令和19年)のリニア全線開業が迫る中、事実上3箇所に絞り込まれてきた「奈良市附近駅」位置等の早期確定に向け、JR東海など関係者と緊密に連携し、検討を進めます。また、「奈良市附近駅」周辺のまちづくりに関する検討を開始します。

リニア中央新幹線・関西国際空港接続線構想の具体化に向けた検討を進めます。

○在来線や高速道路との結節性を考慮すると、事実上、3箇所が「奈良市附近駅」の重点候補



○リニア駅への直結アクセスと県内高速道路網のボトルネックの解消



1. リニア中央新幹線の想定ルート等に関する調査・検討 (2. と合わせて25,000千円)

令和5年の環境影響評価着手に向けた「奈良市附近駅」の位置・県内ルートに関する調査・検討

2. リニア中央新幹線・関西国際空港接続線に関する調査・検討 (1. と合わせて25,000千円)

本構想の具体化に向けた在来線改良と新線建設の組み合わせ方式等に関する調査・検討

3. 新「奈良市附近駅」周辺のまちづくりに関する調査・検討 (20,000千円)

リニア中間駅の設置効果を最大限に発揮するためのまちづくりに関する調査・検討

「奈良市附近駅」3つの重点候補



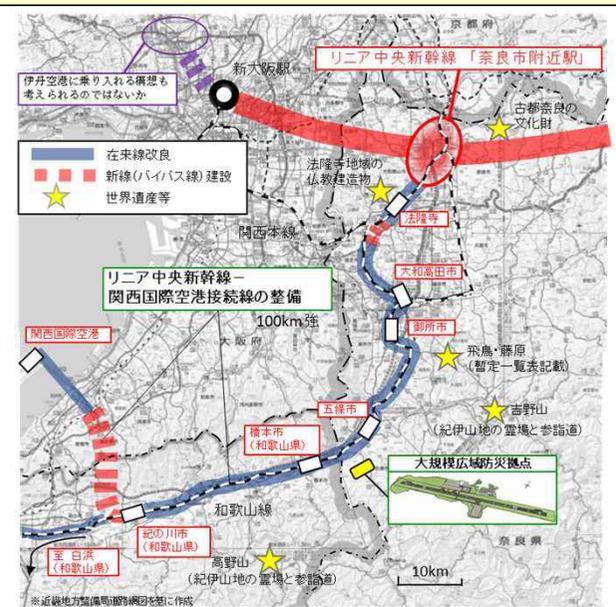
リニア駅への直結アクセスと県内高速道路網のボトルネックの解消



〈問い合わせ先〉

県土マネジメント部 リニア推進・地域交通対策課/まちづくりプロジェクト推進課 植田主幹(内線4324)

リニア中央新幹線・関西国際空港接続線構想



IV 便利な「都」をつくる 13 バス輸送環境整備 (49) 路線バス輸送サービスの改善とバス停アメニティの向上

R5 予算案 215,921千円
R4・2月補正予算案 70,000千円

ここまで良くなりました

広域バス路線につき、客観的な指標に基づく診断と関係者による検討に基づく改善に取り組んできました。また、バス停のアメニティ向上など利用環境の整備を支援してきました。

05つの客観指標に基づく診断

- ・1便あたり利用者数 ・平均乗車密度
- ・最大乗車人員 ・収支率
- ・利用者1人あたり行政負担

0公共交通の利用環境の整備

- バス停の上屋整備や多言語案内標識の設置等を支援
- バス運行情報提供システムの整備を支援

関係者が参画する協議により、運営形態の見直しや利用促進策を実施

市内フリーター交通 (五條市コミュニティバス) デジタルスタンプラリー (天理校井線) バス停の上屋整備(甘樫丘) 案内用タクト設置(大塚通の新宇陀路大宇陀)

もっと良くするために

他の交通モードとの効果的な連携、デジタル技術の活用により、バス輸送サービスの向上や持続的な地域公共交通サービスの確保を図ります。

0広域バス路線の維持・充実を図る取組の強化

- ・鉄道、タクシー、デマンド交通等、他の交通モードと連携し、地域に最適な交通体系の構築に向けた取組を展開
- ・南部東部を中心とする広域路線バス等に対し補助

0バス停の高機能化に併せ、地域の公共・商業施設と連携した利用促進策等の実施

改良した大安寺バス停と商業施設 観光案内センターで多言語案内のバス案内

0公共交通サービスにおけるグリーン化を推進するため、環境負荷の低い次世代自動車の導入支援

0自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの実証実験を実施

南奈良総合医療センターに乗り入れる南部地域連携コミュニティバス(ゆうゆうバス)

バス路線の維持・充実に、県がより積極的な役割を果たすため、権限・財源の確保に向けて取組

令和5年度予算案 216百万円
令和4年度2月補正予算案 70百万円

1. 広域バス路線の維持・充実を図る取組の強化 (200,821千円)

- ①地域の多様な関係者が参画し、地域に最適な交通体系を検討
- ②南部東部を中心とする広域路線バスや市町村連携コミュニティバスの運行等を支援



南部地域連携コミュニティバス

2. バス停の高機能化や周辺施設との連携 (8,100千円)

- ③バス停の上屋・ベンチ等の整備支援
- ④公共交通利用者へのインセンティブ付与等、地域の施設と連携した利用促進



商業施設と隣接したバス停の改良 (大安寺バス停)

3. 公共交通サービスのグリーン化 (7,000千円)

- ⑤バス事業者が行う環境負荷の低い電気バスの導入支援



中型EVバス (バスメーカーHPより)



EVバスを電源供給設備として活用 (他県事例)

4. 自動運転の実現やMaaSの導入 (R4・2月補正 70,000千円)

- ⑥自動運転やMaaSの導入を想定した交通サービスの実証実験等 実証実験候補地 (五條市、宇陀市、三郷町、田原本町、明日香村)



乗換検索アプリから購入可能なバス1日乗車券(奈良交通提供)

※Mobility as a Service
出発地から目的地まで複数の交通モードの経路検索・予約・決済を一体として提供するサービス

<問い合わせ先>

- ①～⑤ 県土マネジメント部 リニア推進・地域交通対策課 津田課長補佐(内線4164)
- ⑥ 県土マネジメント部 まちづくりプロジェクト推進課 大島課長補佐(内線4272)